

必須問題

<p>問 17 (衛生) 解答：1</p>	<p>医薬品の有効性・安全性に関する以下の疫学研究のうち、エビデンスレベルが最も高いのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 無作為化比較試験</li> <li>2 横断的研究</li> <li>3 症例対照研究</li> <li>4 コホート研究</li> <li>5 症例報告</li> </ol>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 19 次の疫学研究のうち、最もエビデンスレベルの<u>低い</u>疫学研究はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 メタアナリシス</li> <li>2 無作為化比較試験</li> <li>3 症例対照研究</li> <li>4 コホート研究</li> <li>5 記述疫学</li> </ol>
<p>問 19 (衛生) 解答：4</p>	<p>新生児マススクリーニング対象疾患のうち、年間の発見数が最も多いのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ホモシスチン尿症</li> <li>2 フェニルケトン尿症</li> <li>3 メープルシロップ尿症</li> <li>4 クレチン症</li> <li>5 ガラクトース血症</li> </ol>
<p>全統模試Ⅰ</p>	<p>問 234 新生児マススクリーニングに関する記述のうち、正しいのはどれか。<u>2つ</u>選べ。</p> <p>5 陽性発見率が最も多いのは、フェニルケトン尿症である。</p> <p>&lt;解答&gt;</p> <p>5 誤。新生児マススクリーニングの対象疾患は、発見頻度が数千～数万人に1人程度の疾患である。なかでも陽性者発見数が最も高いのは、クレチン症（先天性甲状腺機能低下症）である。</p>
<p>問 20 (衛生) 解答：2</p>	<p>日本人の平均摂取量が、「日本人の食事摂取基準（2015年版）」における「目標量」よりも多いのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 炭水化物</li> <li>2 飽和脂肪酸</li> <li>3 コレステロール</li> <li>4 カリウム</li> <li>5 食物繊維</li> </ol>
<p>メディアやま</p>	<p>・食事摂取基準</p>

<p>問 23 (衛生) 解答：4</p>	<p>オゾン層の破壊作用を有する温室効果ガスはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 メタン</li> <li>2 六フッ化硫黄</li> <li>3 パーフルオロカーボン</li> <li>4 ハイドロクロロフルオロカーボン</li> <li>5 ハイドロフルオロカーボン</li> </ol>
<p>メディアやま</p>	<p>・オゾン層破壊 特定フロン：ハイドロクロロフルオロカーボン (HCFC)</p>
<p>問 25 (衛生) 解答：3</p>	<p>指定感染症*の治療・検査時に使用された医療用マスクを滅菌せずに廃棄する際の分類として、適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 産業廃棄物</li> <li>2 事業系一般廃棄物</li> <li>3 感染性一般廃棄物</li> <li>4 特別管理産業廃棄物</li> <li>5 感染性産業廃棄物</li> </ol> <p>*感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律において規定</p>
<p>メディアやま</p>	<p>・医療廃棄物（感染性）の分別</p>
<p>直前講習会</p>	<p>問 93 医療機関より廃棄される廃棄物のうち、特別管理産業廃棄物に該当するのはどれか。2つ選べ。ただし、滅菌、殺菌は行っていないものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 結核患者の紙おむつ</li> <li>2 抗がん剤調製時に生じた破損したガラス容器</li> <li>3 血液が付着したディスポーザブルの手袋</li> <li>4 コレラ患者に使用した包帯</li> <li>5 血液が付着したガーゼ</li> </ol>

<p>問 28 (薬理) 解答：4</p>	<p>運動神経終末からのアセチルコリンの遊離を非可逆的に阻害して骨格筋弛緩作用を示すのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ロクロニウム</li> <li>2 スキサメトニウム</li> <li>3 ダントロレン</li> <li>4 A型ボツリヌス毒素</li> <li>5 チザニジン</li> </ol>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 153 下図は、無処置で摘出したラット神経-骨格筋標本を用いた実験において、運動神経を電気刺激することで生じる終板の膜電位変化(図中Ⓐ)と筋の張力変化(図中Ⓑ)を模式的に示したものである。電気刺激の前に筋弛緩薬を投与した場合に生じる変化と投与した薬物の作用の記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>5 A型ボツリヌス毒素は、運動神経終末からのアセチルコリンの遊離を抑制するため、Ⓐに影響せず、Ⓑを抑制する。</p>
<p>問 30 (薬理) 解答：4</p>	<p>レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病における wearing-off 現象を改善させるアデノシン A<sub>2A</sub> 受容体遮断薬はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アポモルヒネ</li> <li>2 アマンタジン</li> <li>3 プロモクリプチン</li> <li>4 イストラデフィリン</li> <li>5 ロチゴチン</li> </ol>
<p>メディやま</p>	<p>• wearing-off 現象改善：イストラデフィリン (A<sub>2A</sub> 受容体遮断)</p>
<p>問 32 (薬理) 解答：4</p>	<p>カルシトリオールのカルシウム代謝調節作用に関わる機序はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 カルシトニン受容体の刺激</li> <li>2 副甲状腺ホルモンの分泌の促進</li> <li>3 腎臓におけるカルシウム再吸収の抑制</li> <li>4 腸管からのカルシウム吸収の促進</li> <li>5 オステオカルシンのカルボキシ化の抑制</li> </ol>
<p>直前講習会</p>	<p>問 51 カルシトリオールは、ビタミン D 受容体と複合体を形成し、副甲状腺ホルモンの合成・分泌を抑制する。</p>

問 33 (薬理) 解答：3	ニトログリセリンの抗狭心症作用に関わる機序はどれか。1つ選べ。 1 アデニル酸シクラーゼの活性化 2 膜結合型グアニル酸シクラーゼの阻害 3 可溶性グアニル酸シクラーゼの活性化 4 ホスホジエステラーゼⅢの阻害 5 ホスホジエステラーゼⅤの活性化
全統模試 I	問 265 (薬理) ニトログリセリンに関する記述として正しいのはどれか。1つ選べ。 1 細胞内サイクリック GMP (cGMP) 濃度を上昇させる。 3 膜結合型グアニル酸シクラーゼを活性化する。
問 34 (薬理) 解答：1	妊娠末期の子宮平滑筋を収縮させる脳下垂体後葉ホルモン薬はどれか。1つ選べ。 1 オキシトシン 2 エルゴメトリン 3 エストラジオール 4 シノプロストン 5 プロゲステロン
直前講習会	問 13 オキシトシンは下垂体前葉ホルモンであり、子宮収縮作用を有する。
問 36 (薬理) 解答：3	アプレピタントの制吐作用に関わる作用点はどれか。1つ選べ。 1 ヒスタミンH <sub>1</sub> 受容体 2 ドパミンD <sub>2</sub> 受容体 3 タキキニンNK <sub>1</sub> 受容体 4 セロトニン5-HT <sub>3</sub> 受容体 5 オピオイドμ受容体
全統模試 I	問 159 消化器系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 5 チキジウムは、嘔吐中枢のタキキニンNK <sub>1</sub> 受容体を選択的に遮断することで、サブスタンスPによる嘔吐を抑制する。
問 37 (薬理) 解答：5	血清コレステロール低下作用と抗酸化作用を介して抗動脈硬化作用を示すのはどれか。1つ選べ。 1 ロミタピド 2 コレスチラミン 3 クロフィブラート 4 エゼチミブ 5 プロブコール
直前講習会	問 28 プロブコールには、コレステロールの胆汁中への異化排泄促進作用はあるが、抗酸化作用はない。

<p>問 38 (薬理) 解答：5</p>	<p>眼房水の産生抑制により眼圧を下げる炭酸脱水酵素阻害薬はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ピロカルピン</li> <li>2 プナゾシン</li> <li>3 ビマトプロスト</li> <li>4 リバズシル</li> <li>5 ドルゾラミド</li> </ol>						
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>(処方)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">ラタノプロスト点眼液 0.005% 2.5 mL</td> <td style="width: 40%;">1本(1回1滴) 1日1回 両眼 点眼</td> </tr> <tr> <td>ブリンゾラミド懸濁性点眼液 1% 5 mL</td> <td>1本(1回1滴)</td> </tr> <tr> <td>カルテオロール塩酸塩点眼液 1% 5 mL</td> <td>1本(1回1滴) 1日2回 両眼 点眼</td> </tr> </table> <p>問 262 (薬理) 処方薬で期待される薬理効果として、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 炭酸脱水酵素を活性化して、眼房水の産生を抑制する。</li> </ol>	ラタノプロスト点眼液 0.005% 2.5 mL	1本(1回1滴) 1日1回 両眼 点眼	ブリンゾラミド懸濁性点眼液 1% 5 mL	1本(1回1滴)	カルテオロール塩酸塩点眼液 1% 5 mL	1本(1回1滴) 1日2回 両眼 点眼
ラタノプロスト点眼液 0.005% 2.5 mL	1本(1回1滴) 1日1回 両眼 点眼						
ブリンゾラミド懸濁性点眼液 1% 5 mL	1本(1回1滴)						
カルテオロール塩酸塩点眼液 1% 5 mL	1本(1回1滴) 1日2回 両眼 点眼						
<p>問 41 (薬剤) 解答：1</p>	<p>単純拡散による薬物の細胞膜透過に関する記述のうち、正しいのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 濃度勾配に従う。</li> <li>2 透過速度は Michaelis-Menten 式で表される。</li> <li>3 トランスポーターを介する。</li> <li>4 ATP の加水分解エネルギーを利用する。</li> <li>5 タンパク質の細胞内取り込みに関与する。</li> </ol>						
<p>全統模試Ⅰ</p>	<p>単純拡散による薬物の生体膜透過に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 電気化学ポテンシャル差を駆動力とする。</li> </ol> <p>&lt;解答&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 正。単純拡散は、膜の両側の電気化学ポテンシャル差(濃度勾配)を駆動力とする。</li> </ol>						
<p>メディヤま</p>	<p>【吸収】 生体膜透過機構</p>						
<p>問 45 (薬剤) 解答：5</p>	<p>腸肝循環するのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アルベカシン</li> <li>2 イソニアジド</li> <li>3 エナラプリル</li> <li>4 オセルタミビル</li> <li>5 モルヒネ</li> </ol>						
<p>メディヤま</p>	<p>【排泄】 腸肝循環(プラバスタチン、モルヒネ、インドメタシン、エゼチミブ)</p>						

問 47 (薬剤) 解答: 2	全身クリアランスが 40 L/h である薬物を点滴静注し、定常状態における血中濃度を 0.50 mg/L にしたい。適切な投与速度 (mg/h) はどれか。1 つ選べ。 1 13      2 20      3 40      4 50      5 80
メディアやま	【投与計画】 点滴投与 (計算)

問 48 (薬剤) 解答: 3	ある薬物の体内動態に線形性が成り立つとき、静脈内投与後の平均滞留時間が 4.0 h、経口投与後の平均滞留時間が 6.0 h であった。平均吸収時間 (h) はどれか。1 つ選べ。 1 0.67      2 1.5      3 2.0      4 10      5 24
-----------------------	---

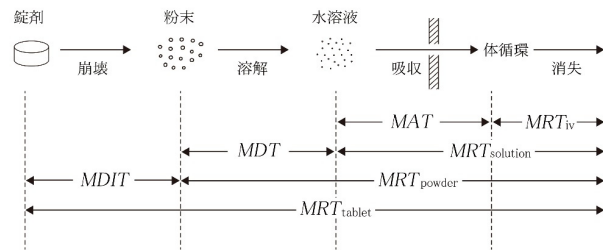
全統模試Ⅱ 問 46 ある薬物をヒトに投与したときのデータを以下に示した。この薬物を錠剤で服用したときの平均滞留時間(h)はどれか。1 つ選べ。

	時間(h)
平均崩壊時間(MDIT)	1.0
粉末の平均溶出時間(MDT)	1.0
溶液の平均吸収時間(MAT)	1.5
静脈内注射したときの平均滞留時間( $MRT_{iv}$ )	2.5
溶液を経口投与したときの平均滞留時間( $MRT_{solution}$ )	4.0
粉末を経口投与したときの平均滞留時間( $MRT_{powder}$ )	5.0

- 1 3.0      2 4.0      3 5.0      4 6.0      5 7.0

<解答>

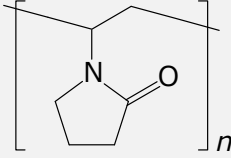
4 薬物を錠剤で服用したときの平均滞留時間を  $MRT_{tablet}$  とおくと問題文中のデータとの関係性は下図のように表すことができる。



すなわち、 $MRT_{tablet}$  は以下の式で求めることができる。

$$MRT_{tablet} = MDIT + MRT_{powder} = MDIT + MDT + MRT_{solution} = MDIT + MDT + MAT + MRT_{iv} = 6.0 \text{ (h)}$$

よって、 $MRT_{tablet}$  は 6.0 h である。

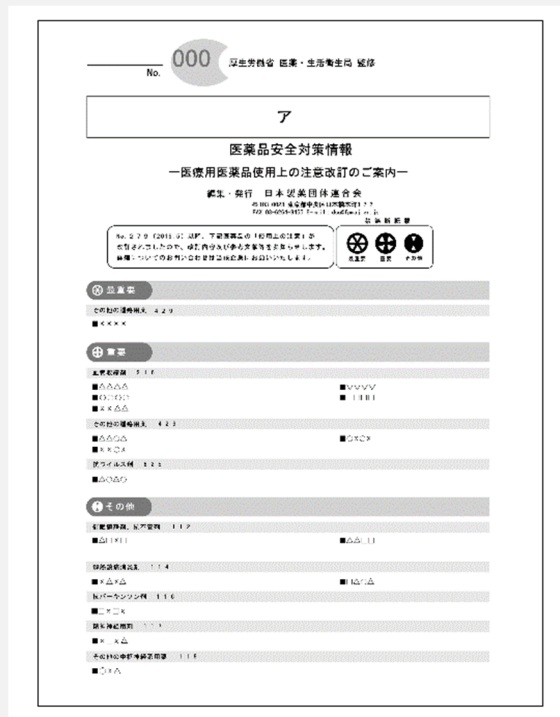
<p>問51 (薬剤) 解答: 3</p>	<p>一定温度において、ある固体表面に水が薄膜状に拡がり、拡張ぬれが成立するときの固液界面張力 (mN/m) はどれか。1つ選べ。なお、固体の表面張力は 585 mN/m、水の表面張力は 73 mN/m とする。</p> <p>1 73      2 439      3 512      4 585      5 658</p>
<p>メディヤマ</p>	<p>【分散系】 表面張力</p>
<p>問52 (薬剤) 解答: 1</p>	<p>図の化学構造を有し、懸濁化剤や結合剤として用いられる合成高分子はどれか。1つ選べ。</p>  <p>1 ポビドン      2 ヒプロメロース      3 メチルセルロース 4 カルメロース      5 アラビアゴム</p>
<p>メディヤマ</p>	<p>【製剤化の基礎】 添加剤</p>
<p>問57 (病態・薬物治療) 解答: 2</p>	<p>肝臓のタンパク質合成能の指標となるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 アルカリホスファターゼ (ALP) 2 コリンエステラーゼ (ChE) 3 クレアチンキナーゼ (CK) 4 <math>\gamma</math>-グルタミルトランスぺプチダーゼ (<math>\gamma</math>-GTP) 5 乳酸脱水素酵素 (LDH)</p>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 286 非代償性肝硬変で主に認められる所見はどれか。2つ選べ。</p> <p>4 血清コリンエステラーゼ活性低下</p> <p>&lt;解説&gt; コリンエステラーゼは肝細胞で合成される酵素であり、肝細胞数を反映する。肝硬変などの肝障害では低値を示す。</p>
<p>問61 (病態・薬物治療) 解答: 4</p>	<p>白血病細胞の分化を誘導し、急性前骨髄球性白血病の寛解導入療法に用いられるのはどれか。1つ選べ。</p> <p>1 イマチニブ 2 シクロスポリン 3 シクロホスファミド 4 トレチノイン 5 メトトレキサート</p>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 295 急性前骨髄性白血病の患者に今後用いられる可能性の高い治療薬として、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>1 トレチノイン      3 イダルビシン</p> <p>&lt;解説&gt; 急性前骨髄性白血病の治療では、トレチノインによって分化が停止した白血病細胞の分化を誘導することで寛解導入する分化誘導療法を実施する。標準治療としてはトレチノインと化学療法 (アントラサイクリン系) の併用療法がある。</p>

<p>問 62 (病態・薬物 治療) 解答：5</p>	<p>前立腺肥大症の治療薬はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アナストロゾール</li> <li>2 クロニジン塩酸塩</li> <li>3 クロルフェニラミンマレイン酸塩</li> <li>4 シルデナフィルクエン酸塩</li> <li>5 デュタステリド</li> </ol>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 187 前立腺肥大症に関する記述のうち、正しいのはどれか。<u>2つ</u>選べ。</p> <p>5 デュタステリドは前立腺の体積を減少させることはできない。</p> <p>&lt;解説&gt;</p> <p>ジヒドロテストステロンは前立腺の肥大化に関与し、5<math>\alpha</math>還元酵素によりテストステロンから生成される。デュタステリドは5<math>\alpha</math>還元酵素を阻害することでジヒドロテストステロンの生成を低下させ、肥大を抑制することで前立腺体積を減少させる。</p>
<p>問 63 (病態・薬物 治療) 解答：5</p>	<p>急性膵炎の診断に有用な血液検査値はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アルブミン濃度</li> <li>2 C反応性タンパク(CRP)濃度</li> <li>3 乳酸脱水素酵素(LDH)活性</li> <li>4 尿素窒素(BUN)濃度</li> <li>5 リパーゼ活性</li> </ol>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 304 急性膵炎の患者の入院時の血液検査の結果として、妥当なのはどれか。<u>2つ</u>選べ。</p> <p>2 リパーゼ上昇</p> <p>&lt;解説&gt;</p> <p>急性膵炎とは、アルコールの大量摂取や胆石症により膵臓内で膵酵素(アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン、エラスターゼなど)が異常に活性化され、膵臓や周辺組織を自己消化する疾患である。</p>
<p>問 68 (病態・薬物 治療) 解答：2</p>	<p>甘草の副作用として注意すべき電解質異常はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 低カルシウム血症</li> <li>2 低カリウム血症</li> <li>3 低ナトリウム血症</li> <li>4 低マグネシウム血症</li> <li>5 低リン血症</li> </ol>
<p>メディアやま</p>	<p>【副作用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・甘草：低K<sup>+</sup>血症、ミオパシー、偽アルドステロン症</li> </ul>



問 69  
 (病態・薬物  
 治療)  
 解答：2

図中の **ア** に入る語句はどれか。1つ選べ。



- 1 COCHRANE LIBRARY
- 2 DRUG SAFETY UPDATE
- 3 INTERVIEW FORM
- 4 PHYSICIANS' DESK REFERENCE
- 5 RISK MANAGEMENT PLAN

全統模試Ⅱ

問 68 添付文書の使用上の注意の改訂内容について日本製薬団体連合会が定期的にまとめて提供する以下のような情報はどれか。1つ選べ。

改訂箇所		旧様式	改訂内容
[重大な副作用]	追記		<p><b>横紋筋融解症：</b>            筋肉痛、脱力感、CK(CPK)上昇、血中及び尿中ミオグロビン上昇を特徴とする横紋筋融解症があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。また、横紋筋融解症による急性腎障害の発症に注意すること。</p>

ニューロパッチ2.25mg・4.5mg (大塚製薬)

ニューロパッチ9mg・13.5mg・18mg (大塚製薬)

5 医薬品安全対策情報

<解説>

医薬品安全対策情報 (DSU) は添付文書の使用上の注意の改訂内容について日本製薬団体連合会が会員企業の情報を定期的にまとめて提供するものであり、全ての医療機関に配布される。改訂内容の重要度に応じて、最重要、重要、その他に分類されている。

問70 (病態・薬物 治療) 解答：2	パラメトリック法に分類される仮説検定法はどれか。1つ選べ。 1 Mann-Whitney のU検定 2 t検定 3 カイ二乗検定 4 フィッシャーの直接確率検定 5 ログランク検定
メディヤマ	パラメトリック検定 (t 検定、分散分析、Tukey 検定、Dunnett 検定)
問71 (法規・制度・ 倫理) 解答：5	1981 年に出されたリスボン宣言は何に関する宣言か。1つ選べ。 1 医師の専門職としての倫理 2 ヘルスプロモーション 3 ヒトを対象とする医学研究の倫理 4 プライマリヘルスケア 5 患者の権利
全統模試 I	問 142 リスボン宣言に関する記述のうち、誤っているのはどれか。2つ選べ。 1 すべての人は、差別なしに適切な医療を受ける権利を有する。 2 患者はいかなる治療段階においても、他の医師の意見を求める権利を有する。 3 患者は自己決定の権利を有するが、その決定のもたらす結果を知ることはできない。 4 患者が法的無能力の場合、本人が合理的な判断ができる状態であっても、法律上の権限を有する代理人の意思決定が優先される。 5 すべての人は、健康教育を受ける権利を有する。 <解説> リスボン宣言とは、ポルトガルのリスボンで開催された世界医師会総会で採択された医療従事者が知っておくべき患者の権利を示したものである。
問74 (法規・制度・ 倫理) 解答：1	GCP 省令において、「治験を行うことの適否」について、あらかじめ治験審査委員会の意見を聴かなければならないと定められているのは誰か。1つ選べ。 1 治験実施医療機関の長 2 治験責任医師 3 治験依頼者 4 被験者の代表 5 独立行政法人医薬品医療機器総合機構 (PMDA) の審査役
メディヤマ	治験
問75 (法規・制度・ 倫理) 解答：2	国内自給確保の基本理念が法律で規定されているのはどれか。1つ選べ。 1 ワクチン製剤 2 血液製剤 3 麻薬製剤 4 漢方製剤 5 抗生物質製剤
全統模試 I	問 147 我が国の血液供給体制に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。 2 輸血用血液製剤と血液凝固因子製剤の国内自給率は 100%である。

<p>問 77 (法規・制度・倫理) 解答：1</p>	<p>患者が自らの治療のために、2 週間程度の海外旅行に携帯する場合、地方厚生（支）局長の許可が必要となるのはどれか。1 つ選べ。なお、地方厚生（支）局長は、厚生労働大臣から権限が委任されているものとする。</p> <p>1 麻薬                    2 向精神薬                    3 あへん 4 覚醒剤                    5 大麻</p>
<p>全統模試 I</p>	<p>問 148 麻薬及び向精神薬取締法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>5 自己の疾病の治療の目的で向精神薬を携帯して輸入又は輸出するためには、地方厚生（支）局長の許可が必要である。</p> <p>&lt;解説&gt; 自己の疾病の治療の目的で向精神薬を携帯して輸出入する場合、地方厚生（支）局長の許可は不要である。携帯する向精神薬が定められた量を超える場合は、医師の証明書が必要となる。一方、自己の疾病の治療の目的で携帯して輸出入する場合に、地方厚生（支）局長（厚生労働大臣）の許可が必要であるのは麻薬である。</p>
<p>メディアやま</p>	<p>&lt;問題&gt;</p> <p>問 11 麻薬及び向精神薬取締法に関する記述のうち、正しいのはどれか。2 つ選べ。</p> <p>5 自己の疾病の治療の目的で向精神薬を携帯して輸入又は輸出するためには、厚生労働大臣の許可が必要である。</p> <p>&lt;解説&gt; 自己の疾病の治療の目的で向精神薬を輸出入するためには、医師の証明書が必要である。一方、自己の疾病の治療の目的で麻薬を携帯して輸出入するためには、厚生労働大臣の許可が必要である。</p>
<p>問 84 (実務) 解答：2</p>	<p><input type="text"/> に当てはまる適切な語句はどれか。1 つ選べ。</p> <p>がんの宣告を受ける、交通事故に遭遇する、あるいは愛する人を失うと不安を抱き混乱した状態になる。このような不安を軽減しようとするために示す無意識な反応を <input type="text"/> と呼ぶ。</p> <p>1 行動変容 2 心理的防衛機制 3 健康信念 4 アサーション 5 エンパワーメント</p>
<p>メディアやま</p>	<p>p70 &lt;問題&gt;</p> <p>防衛機制のうち、「抑圧されている感情や衝動を知的に理解したり表現しようとしたり、自分の疾患に関する専門的な情報を集めることで不安を解消すること」として最も適切なのはどれか。1 つ選べ。</p> <p>1 抑圧                    2 合理化                    3 否認                    4 置換                    5 知性化</p> <p>&lt;解答&gt; 5</p> <p>知性化とは、抑圧されている感情や衝動を、知的に理解したり表現しようとすることである。例えば、自分の疾患に関する情報を集めることで不安を解消すること等。</p>

<p>問 85 (実務) 解答：1</p>	<p>投与中に、血清ナトリウム値に注意が必要な薬物はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 トルバプタン</li> <li>2 カナグリフロジン</li> <li>3 スポレキサント</li> <li>4 リナグリプチン</li> <li>5 プレガバリン</li> </ol>																
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 250-251 68 歳男性。この 3 年間、慢性心不全 (NYHAⅢ度) に対して同一の薬剤で薬物治療を行ってきた。最近、体動時の息切れがひどくなり、精査加療のために入院となった。検査の結果、体液貯留と浮腫の増悪が認められた。カンファレンスで薬物治療が再検討され、新たに 1 つの薬剤が追加となり、下記のと通りの処方内容になった。</p> <p>(処方)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">フロセミド錠 40 mg</td> <td style="width: 50%;">1 回 2 錠 (1 日 2 錠)</td> </tr> <tr> <td>スピロラクトン錠 25 mg</td> <td>1 回 2 錠 (1 日 2 錠)</td> </tr> <tr> <td>トルバプタン錠 15 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 1 錠)</td> </tr> <tr> <td>ロサルタンK 錠 25 mg</td> <td>1 回 2 錠 (1 日 2 錠)</td> </tr> <tr> <td>ワルファリンK 錠 1 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 1 錠)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">1 日 1 回 朝食後 7 日分</td> </tr> <tr> <td>カルベジロール錠 2.5 mg</td> <td>1 回 1 錠 (1 日 2 錠)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">1 日 2 回 朝夕食後 7 日分</td> </tr> </table> <p>問 250 (実務)</p> <p>今回、追加された薬剤に関する記述として適切なものはどれか。<u>2</u>つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 血清ナトリウム濃度を測定する必要がある。</li> </ol> <p>&lt;解説&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 正。追加処方されたトルバプタンは、集合管において水の再吸収を抑制することで利尿作用を示す (水利尿作用)。そのため、体内の水分排泄が増加することで急激な血清ナトリウム濃度の上昇が起こることがあるため、投与開始に伴って血清ナトリウム濃度を頻回に測定する必要がある。</li> </ol>	フロセミド錠 40 mg	1 回 2 錠 (1 日 2 錠)	スピロラクトン錠 25 mg	1 回 2 錠 (1 日 2 錠)	トルバプタン錠 15 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)	ロサルタンK 錠 25 mg	1 回 2 錠 (1 日 2 錠)	ワルファリンK 錠 1 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)		1 日 1 回 朝食後 7 日分	カルベジロール錠 2.5 mg	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)		1 日 2 回 朝夕食後 7 日分
フロセミド錠 40 mg	1 回 2 錠 (1 日 2 錠)																
スピロラクトン錠 25 mg	1 回 2 錠 (1 日 2 錠)																
トルバプタン錠 15 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)																
ロサルタンK 錠 25 mg	1 回 2 錠 (1 日 2 錠)																
ワルファリンK 錠 1 mg	1 回 1 錠 (1 日 1 錠)																
	1 日 1 回 朝食後 7 日分																
カルベジロール錠 2.5 mg	1 回 1 錠 (1 日 2 錠)																
	1 日 2 回 朝夕食後 7 日分																
<p>問 86 (実務) 解答：5</p>	<p>ラモトリギンに対して発出された安全性速報 (ブルーレター) を契機に添付文書の「警告」に記載された重篤な副作用はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 低カルシウム血症</li> <li>2 高ビリルビン血症</li> <li>3 間質性肺疾患</li> <li>4 腎機能障害</li> <li>5 皮膚障害</li> </ol>																
<p>メディアやま</p>	<p>p78</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 安全性速報 (ブルーレター)</li> </ul>																

<p>問 87 (実務) 解答：3</p>	<p>ジゴキシンの投与されている患者について、安全性確保の点からモニタリングが推奨される項目はどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヘマトクリット値</li> <li>2 PT-INR 値</li> <li>3 薬物血中濃度</li> <li>4 尿中C-ペプチド値</li> <li>5 血清尿酸値</li> </ol>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 272-273 65 歳男性。体重 70 kg。ある日、胸の不快感を訴え近医を受診した。検査の結果、心房細動と診断され入院することとなり、ジゴキシンの投与が検討された。</p> <p>問 272 (実務)</p> <p>ジゴキシンの特徴に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。</p> <p>5 治療薬物モニタリングを行う際に、全血試料が用いられる。</p> <p>&lt;解説&gt;</p> <p>5 誤。ジゴキシンの治療薬物モニタリング (TDM) を行う際、血漿または血清を用いるため全血を用いない。一方、シクロスポリンやタクロリムスは血球成分にも分布するため全血試料を用いて TDM を行う。</p>
<p>問 88 (実務) 解答：3</p>	<p>ドライパウダー吸入器の使用法に関する説明として適切なのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 吸入前に容器をよく振ってください。</li> <li>2 吸入前に息を吐かないでください。</li> <li>3 吸入時は勢いよく深く息を吸い込んでください。</li> <li>4 吸入してから息を止めないでください。</li> <li>5 吸入口を下に向けて吸い込んでください。</li> </ol>
<p>全統模試Ⅱ</p>	<p>問 280-281 23 歳女性。気管支喘息治療のため、以下の薬剤が処方された。</p> <p>(処方)</p> <p>パルミコート®200 μg タービュハイラー®※56 吸入 1 回 1 吸入 1 日 2 回 朝・夕食後吸入 全 1 本</p> <p>(※ブデソニドのドライパウダー吸入式ステロイド薬)</p> <p>問 280 (実務)</p> <p>処方薬に関する記述のうち、誤っているのはどれか。1つ選べ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 吸入する前には苦しくない程度に息を十分吐き出す。</li> <li>2 吸入する際には、ゆっくり吸い込む。</li> </ol> <p>&lt;解説&gt;</p> <p>1 正。ドライパウダー式の吸入剤は、吸入する前には苦しくない程度に息を十分吐き出し、速く強く吸い込む必要がある。</p> <p>2 誤。解説 1 参照。ゆっくり吸入する製剤としてエアゾール剤がある。</p>